

第 1 1 8 回

中小企業景況調査報告書

〔平成20年10月～12月期実績〕
〔平成21年 1月～ 3月期予測〕

平成20年12月
群馬県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数…… $50\% - 20\% = 30\%$

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は、平成20年11月15日を調査時点とし、期間は平成20年10月～平成20年12月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口:人) 平成17年12月1日現在	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
渋川市赤城 (11,935)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,610)	15	3	3	4	5
渋川市子持 (11,723)	15	4	5	3	3
群馬伊勢崎 (73,307)	15	3	3	4	5
上野村 (1,522)	15	4	3	4	4
下仁田町 (9,514)	15	3	3	4	5
東吾妻町 (14,494)	15	3	3	5	4
草津町 (7,276)	15	3	3	4	5
川場村 (4,191)	15	4	2	5	4
玉村町 (38,163)	15	3	3	4	5
合計 (構成比%)	150 (100%)	33 (22.0%)	31 (20.7%)	43 (28.7%)	43 (28.7%)
回答企業数	150	33	31	43	43
回収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※桐生市黒保根は、平成17年6月1日の人口

下仁田町、草津町は、平成18年4月1日推計の人口

5. 業種別構成

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	5	15.2
飲料・たばこ・飼料	1	3.0
繊維	1	3.0
木材・木製品	3	9.1
家具・装備品	7	21.2
印刷・同関連業	2	6.1
プラスチック製品	1	3.0
窯業・土石製品	2	6.1
金属製品	2	6.1
はん用機械器具	1	3.0
業務用機械器具	2	6.1
電気機械器具	2	6.1
輸送用機械器具	3	9.1
その他	1	3.0
合 計	33	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	17	54.8
職別工事業	10	32.3
設備工事業	4	12.9
合 計	31	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
織物・衣服・身の回り品	3	7.0
飲食料品	20	46.5
機械器具	2	4.7
その他小売業	18	41.9
合 計	43	100.0

(4) サービス業







業 種 内 訳	企業数	構成比%
道路貨物運送業	2	4.7
技術サービス業	1	2.3
宿泊業	8	18.6
飲食店	15	34.9
洗濯・理容・美容・浴場	8	18.6
その他の生活関連	1	2.3
娯楽業	2	4.7
その他の教育・学習支援	1	2.3
自動車整備業	5	11.6
合 計	43	100.0

群馬県全産業の景況概況









































今期（平成20年10月～12月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：▲15.6→▲37.5、建設業：▲32.3→▲35.5、小売業：▲41.8→▲25.6、サービス業：▲20.9→▲26.8なった。小売業で大幅な回復が見られるが、製造業は大幅な悪化、建設業は小幅な悪化、サービス業は悪化傾向であった。製造業と建設業は雨の景況であり、サービス業は悪化傾向とは言え曇の景況であった。

来期（平成21年1月～3月期）予想では、製造業は▲37.5→▲37.5とほぼ横ばいの見通し、建設業は▲46.7→▲48.3とやや悪化の見通し、小売業は▲25.6→▲44.2と再び大幅な悪化見通し、サービス業は▲26.8→▲33.3と悪化の見通しであった。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成 18 年度		平成 19 年度				平成 20 年度			
	10～12 月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業										

平成 20 年 12 月 1 日付群馬経済研究所発表資料では、県内の全体的な景気状況を「県内景気は、弱含んでいる。」としている。

〔個人消費〕⇒大型小売店販売は 7 ヶ月連続で、乗用車販売は 3 ヶ月連続でそれぞれ減少し、弱含み。

9 月の百貨店・スーパー合計の大型小売店販売額（新設店含み）は前年比▲2.5%と 7 ヶ月連続で減少した。内訳では、衣料品、飲食料品、その他のいずれもマイナス。

10 月の乗用車販売台数は、前年比▲7.4%と 3 ヶ月連続で前年割れとなった。内訳は軽乗用車がプラスに転じた一方、普通車、小型車はともに 3 ヶ月連続のマイナス。

〔生産活動〕⇒鉱工業生産指数は前月比で 2 ヶ月連続の低下となり、弱含んでいる。

9 月の鉱工業生産指数は、前月比（季節調整済指数）で 0.3%低下し、前年比（原指数）でも 0.4%低下した。

前月比では輸送機械工業（エアコン乗用車用、普通乗用車）、一般機械工業（数値制御ロボット、プレス用金型）等が上昇した一方で、食料品・たばこ工業（清涼飲料、めん類）、金属製品工業（軽金属製飲料用缶、鉄製一般缶）等が低下。

輸送機器は、前月比で上昇に転じた。

電気機器は、電気機械が前月比低下に転じた一方、情報通信機械、電子部品・デバイスはそれぞれ上昇となった。

繊維は、桐生繊維で主力の婦人服地や和装品の売上が低調に推移。太田ニットはマイナス基調。

〔住宅投資〕⇒新設住宅着工戸数は 3 ヶ月ぶりに前年割れとなり、弱含んでいる。

9 月の住宅着工戸数は 1,393 戸、前年比▲3.5%と 3 ヶ月ぶりに減少。

主力の持家が着工戸数 766 戸、前年比+21.6%と 3 ヶ月連続の増加。

貸家は着工戸数 471 戸、前年と同水準。

分譲住宅は着工戸数 140 戸、前年比▲57.1%と 3 ヶ月ぶりの減少。うちマンションは 41 戸で前年比▲81.7%、一戸建は 99 戸で前年比▲2.9%。

〔公共投資〕⇒請負金額は再び前年比で増加に転じたものの、低調に推移している。

10 月の公共工事請負額は前年比+8.1%と再び増加に転じた。内訳は国がマイナスの一方、独立行政法人等、県、市町村、地方公社などがプラス。

〔雇用情勢〕⇒有効求人倍率が 4 ヶ月連続で前年比上昇したものの、弱含み。

9 月の有効求人倍率（季節調整値）は 1.54 倍（前月比+0.04）。正社員の有効求人倍率は 0.64 倍（前年比▲0.12）

新規求人数は、前年比+25.0%と 7 ヶ月ぶりの増加。産業別では、製造業、建設業等がマイナスの一方、卸売・小売業、医療・福祉業、サービス業がプラス。

新規求職者数は前年比+16.0%。

8 月の所定外労働時間（事業所規模 5 人以上）は前年比▲0.9%。電気・ガス・熱供給・水道業や金融・保険業などで減少した。

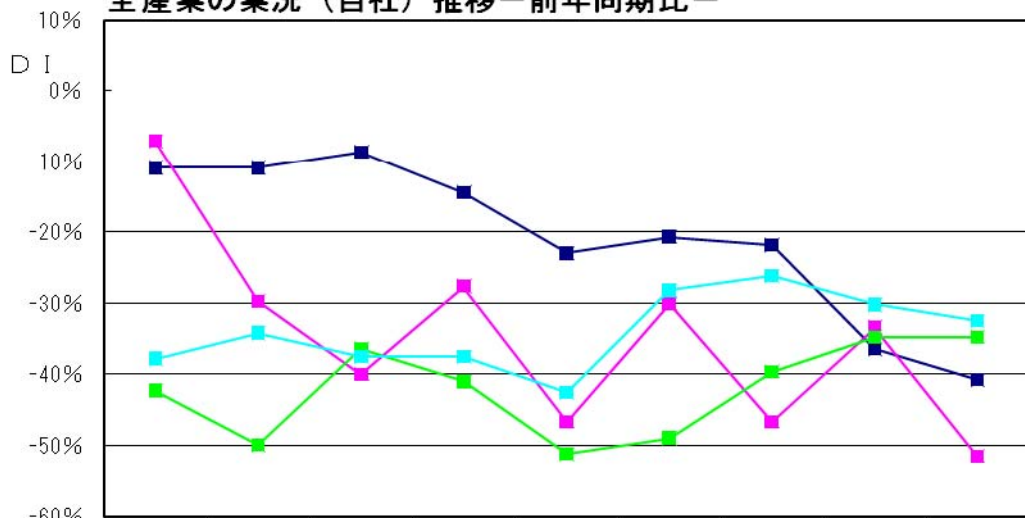
現金給与総額（事業所規模 5 人以上）は、前年比で+6.0%と 23 ヶ月連続の増加。

〔企業倒産〕⇒件数は前年比 6 件増加の 11 件、負債総額は前年比約 9 倍となる 179 億 4000 万円。

10 月の企業倒産は 11 件で前年比 6 件の増加。負債総額は前年比約 9 倍となる 179 億 4000 万円。

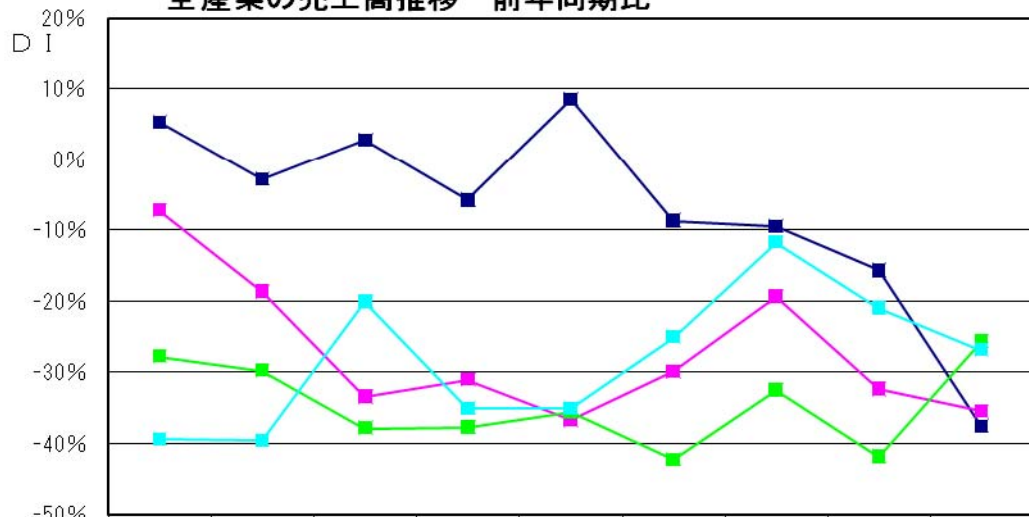
業種別では、製造業、建設業が各 4 件、小売業が 2 件、不動産業が 1 件。

全産業の業況（自社）推移—前年同期比—



	H18/10 ~12	H19/1 ~3	H19/4 ~6	H19/7 ~9	H19/10 ~12	H20/1 ~3	H20/4 ~6	H20/7 ~9	H20/10 ~12
■ 製造業	-10.8	-10.8	-8.6	-14.3	-22.9	-20.6	-21.8	-36.4	-40.7
■ 建設業	-7.1	-29.7	-40.0	-27.6	-46.7	-30.0	-46.7	-33.4	-51.5
■ 小売業	-42.3	-50.0	-36.4	-41.0	-51.2	-49.0	-39.6	-34.8	-34.8
■ サービス業	-37.8	-34.2	-37.5	-37.5	-42.5	-28.2	-26.2	-30.2	-32.5

全産業の売上高推移—前年同期比—



	H18/10 ~12	H19/1 ~3	H19/4 ~6	H19/7 ~9	H19/10 ~12	H20/1 ~3	H20/4 ~6	H20/7 ~9	H20/10 ~12
■ 製造業	5.4	-2.7	2.9	-5.7	8.6	-8.6	-9.4	-15.6	-37.5
■ 建設業	-7.2	-18.6	-33.4	-31.0	-36.7	-29.9	-19.3	-32.3	-35.5
■ 小売業	-27.7	-29.7	-37.8	-37.7	-35.5	-42.2	-32.5	-41.8	-25.6
■ サービス業	-39.4	-39.5	-20.0	-35.0	-35.0	-25.0	-11.7	-20.9	-26.8